

酒田の小中一貫教育

図 学校教育課 指導係 ☎26-5775

酒田の小中一貫教育で目指していることは？ どんな力を身につけたいの？ どんなことに力を入れていくの？
来年度から酒田市の全小・中学校で実践していく小中一貫教育についてご紹介します。

酒田市小中一貫教育ビジョン

VISION 01 教育目標と目指す人間像

学び合い ともに生きる
公益のまち酒田の人づくり

自ら学び、考え、時代の変化に対応できるたくましい人

自分と他の人を大切にし、多様性を認め支え合う人

ふるさとの自然・歴史・文化を愛し、公益の心でこれからの社会を担う人

VISION 02 身につけたい力 酒田まなびの樹

教えるべきことを教える



挑戦させる
考えさせる
経験させる

(「指導」と「支援」の動きかけ)



葉の力：「知識及び技能」
生きて働く概念として日常と関連づけながら、学びを更新していく力

幹の力：「思考力・判断力・表現力等」
未知の状況にも、これまでの学びを活用しながら考え対応していく力

根の力：「学びに向かう力、人間性等」
よりよい社会や幸福な人生に向けて、学びを生かしていく力

自律する力 尊重する力 創造する力

樹の成長にとって特に重要なのが、地面の下で樹を支え、土からの水分や栄養を吸収して広がっていく「根っこ」です。

VISION 03 9年間を貫くまなびの軸

中学校区ごとに「課題の分析」や「身につけたい力」について協議し、目指す子ども像を共有します。「重点教科」や「軸となる特色ある取組み」を検討し、系統性・一貫性のある9年間の教育課程を創り上げていきます。

一人一人に応じた
学びの保障と協働的な学びの
充実を図る視点

主体的な経験や他者との
かわりから豊かな
「根っこ」が育っていく視点

目指す子ども像
の共有

系統性・一貫性のある
9年間の教育課程の
実施

- 学力調査や生活調査などの結果を小・中学校で共有し、協働で分析しながら、課題や身につけたい力、指標等を明確にします。
- 現状把握から明らかになった課題の解決に向けて、9年間で育みたい子ども像を明確にし、学校・家庭・地域で共有します。
- 教師が「育てる」から、子どもが「育つ」という共通理解のもと、他と比べるのではなく、一人一人の9年間の成長を評価・支援します。
- 「重点的な取組」(各教科・特別活動・総合的な学習・道徳及び防災教育やキャリア教育等)を中心に9年間の教育課程を系統的に編成・実践していきます。

- 学校間の教員の交流を推進するとともに、小学校・中学校それぞれの指導の良さを生かしながら、一貫性のある学習スタイルを構築していきます。
- 地域の特色ある資源・外部人材の活用や、一人一台端末等のICTの活用、異年齢交流を通じた体験活動など、子どもの学び・かわりの機会を広げていきます。
- 小中一貫教育の効果について指標等をもとに検証しながら、目指す子ども像の実現にむけての方策を検討・改善していきます。

小中一貫教育が本格的に始めるとどんなことがあるの？

具体的にはどのような取り組みが考えられるか

取り組みの例	内容
異学年交流	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校と中学校の合同授業、総合的学習の異学年実施(例：中学2年生と小学4年生など) ・中学校行事への小学校の参加 ・小学校の陸上競技等における中学生の指導参加
部活動・クラブ活動の交流	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校高学年児童の中学校部活見学の機会増や練習参加などの機会設定 ・中学生による小学校のクラブ活動への参加、協力又は支援
児童会・生徒会の交流	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校合同での児童会・生徒会活動及び運営

取り組みの例に限らず、それぞれの地域の特徴を活かした活動が想定できます。

7/8

志水宏吉先生の講演

今年度酒田市の教育参与としてご助言いただいている大阪大学の志水宏吉先生より講演



をいただき、小・中学校の先生方で大切にしたい「まなびの樹」と「教師の役割」について研修を行いました。